

## 報 道 資 料

平成22年2月8日  
文化観光局ならの魅力創造課  
担当：福野・常盤・堀内（内線2598）  
(0742-27-1515)

### 楽天三木谷社長、楽天トラベル岡武社長と奈良県知事荒井正吾が鼎談

～楽天と奈良県のさらなる連携強化を確認～

本日午後、昨年3月に奈良県と連携協定を締結した楽天株式会社 会長兼代表取締役社長 三木谷浩史氏と楽天トラベル 代表取締役社長 岡武公士氏、奈良県知事 荒井正吾が鼎談し、平城遷都1300年祭やインターネットを活用した観光活性化策について幅広い意見交換を行うとともに、今後の更なる連携強化について意見交換をしました。

#### ○鼎談結果について

日時：平成22年2月8日（月）16：10～16：45

場所：帝国ホテル大阪 4階 桐の間（大阪市北区天満橋1-8-50）

#### 荒井知事発言骨子

- ・平成21年3月の連携協定後、楽天グループとはさまざまな取り組みが進んでおり、奈良県内の活性化にご協力いただき大変ありがたい。
- ・楽天トラベルのような大手総合旅行サイトの業績は伸びており、観光業界におけるネットエージェントの存在は日増しに大きくなっており、奈良県としてもインターネットを活用した観光活性化に役立てたい。  
インターネットは、全国・世界に情報発信や販路を広げることが出来るため、交通の面で不利な過疎地域での商売や情報発信にとっても有利だと思う。県内南部の中山間地域でも過疎が進んでおり、雇用を生み出す産業活性化、観光活性化が地域活性化の大きなテーマの一つになっている。インターネットの活用は過疎対策でも可能性を秘めていると思う。
- ・インターネットは海外の方に向けての情報発信に有効なため、インバウンド対策も一緒に取り組めればと考えている。また、例えば、携帯電話を利用して、奈良に訪れていただいた方にメールで地域情報の発信が出来れば、もっと奈良の魅力を伝えることができると思う。
- ・楽天グループは「日本を元気にする」というコンセプトで十数年間事業をしてこられ、地域活性化にも積極的に取り組んでおられる。奈良県庁も奈良県を元気にするという事で、職員は日々取り組んでおり、お互い同じベクトルを向いていると思うので、本年迎える平城遷都1300年祭を契機に、今後さらに連携を強化していただきたい。

### 三木谷社長発言骨子

- ・ 楽天グループでは、楽天市場＝物販、楽天トラベル＝旅行という主軸の事業を持っているが、いずれの事業も、『地方・日本を元気にする』というテーマとの親和性が非常に高い事業である。  
2010年は、奈良県にとって平城遷都1,300年祭という新しい節目の年となる。歴史的な節目の年に、特に、楽天トラベルの観光誘致を主軸に、観光&物販の双方より奈良県全体のさらなる活性化に力を入れていこうと考えている。
- ・ 楽天市場では、「まち楽」という企画も進めている。「まち楽」とは“ニッポンを元気にしよう！”をコンセプトにした、「楽天市場」で取り扱っている日本全国各地の特産品を紹介し、各県を元気にするための企画。47都道府県の“まち”単位にスポットを当て、各エリアの意外な魅力を紹介している。これまでに、県との共同企画は40道府県開設しており、奈良県とは、2009年3月に連携協定を結んで以来、奈良県の店舗拡大のためのセミナーをはじめ、CSR活動も進めている。

### 岡武社長発言骨子

- ・ 楽天グループの地域活性化への取り組みとして、楽天トラベルでは、「<sup>たびごころ</sup>旅頃」という“地域観光の活性化”“地域の魅力発信”“地域のブランディング”という3つの切り口から、「観光」を通して日本を元気にする企画をしている。都道府県単位だけでなく、市町村や温泉組合といった細かいエリアまでフォローをしており、47都道府県の’観光資源’にスポットを当てて、旅行需要を喚起するコンテンツ発信している。

## ○奈良県と楽天との関係

- H21.3月 楽天株式会社と連携協定締結（経済発展セミナーにて小林常務講演）  
楽天市場「まち楽奈良」にて奈良県庁ページ開設
- 4月 第1回IT活用販路拡大セミナー（楽天Eコマース（電子商取引）セミナー）開催  
※平成22年2月現在まで計5回開催 計269社347名が参加
- 5月 奈良朱雀高校にてEコマース（電子商取引）体験授業を開催
- 6月 「まち楽奈良」内に“奈良まほろば館”ページ開設
- 9月～ 楽天市場と連携し、県内の事業者に対しEコマース（電子商取引）導入推進  
オフシーズン対策として楽天トラベルにて3回にわたり特集ページ掲載

